

木オだよソ

社会福祉法人 東香会
しぜんの国保育園 small village

Dec. 2022



法人理念

いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

12月主題 よいしょ よいしょ わたしたちはここにいる

今年度も始まった、こども坐禅会。初日の今日は幼児グループのみんなとホールで坐禅をしました。心を静かに、背筋を伸ばして坐ります。目は半眼。つばき組の子どもたちも、すみれ組の時とは、ちょっと違う「本気」の雰囲気を感じながら、見よう見まねで真剣に坐っています。

しぜんの国では0歳児から坐禅を行います。子どもたちと座る、立ち上がるような雰囲気が心地よくて好きです。

今日は、ごはんの後、YMさんとYさんが、さらに「坐禅をしたい」と、事務所に来てくれました。子育てひろばをお借りして、3人で坐りました。静かで凜とした時間。流れる心地よい空気の流れ。

坐禅というと「心を無にする」というイメージがある方も多いようです。私の尊敬する板橋興宗禅師が、そのことについて答えているのを読んだことがあるのですが、こう答えていました。

「坐禅中に何も考えないということはありません。(中略)頭の中に沸き起こってくるものは、沸き起こってくるがままに、自然に任せておけばいい」

そう考えると「坐禅」をすることも自然に受け入れることができるのではないのでしょうか。反対に難しく感じてしまいますか？

慌ただしい師走の時期だからこそ、心も体もいったん坐る。ただ坐る。よかったら、保護者の皆さんも一緒にどうぞ。

園長 齋藤美和



12月の予定

こども坐禅会

誕生会

成道会

全園児健診

※私用欠席はお控えください

自然体験(けやき)

避難訓練

もちつき

保育納め

お知らせ と おねがい

- ・ **は全園児健診です。**
私用欠席は避けていただき、登園のご協力をお願いします。
 - ・ 年末年始はご家庭の都合で欠席される場合もあると思います。
事前にご予定がわかっている場合は早めにお知らせしていただくようお願いします。
- 保育園の年末年始の開園につきましては以下の通りです。
- 保育納め
 - 冬期休園期間
 - 保育始め
- ・ 予防接種を受けた当日の登園はお控えください。また翌日に登園の際には予防接種を受けた旨お知らせください。
 - ・ 健康チェックシートを配布しています。今月も毎日必ず記入をお願いします。
また、年末・年始期間も必ず記入して下さい。(1月の用紙は月末に配布します)
 - ・ 朝・夕の駐車場が混み合う時間帯は、駐車場をご利用になる方は速やかなご移動をお願い致します。

じむしょ 小窓 だより

先日のこども美術館。エントランスでお香が焚かれているのに気づかれた方もいらっしゃるかと思いますが。あのお香は築田寺の調香師、岡田愛里さんとあおぞらチームのこどもたちが作ったものです。材料として使われているのは、築田寺の山で取れた植物smallvillageに植栽として植っているハーブなど…子どもたちの身近にあるものです。お香の歴史は古く、仏教伝来とともに日本に伝わったとも考えられています。古くから信仰との関連も深く、神聖なものとして扱われていた「火」「香り」を、お香作りを通してゆっくりと感じるひと時となりました。

私は子どもの頃の記憶が少ない方で、家族に「あの時こうだったよね」と言われても「何も覚えていない」と言っていていつも驚かれるのですが、小さな時、園にいる子どもたちと同じくらいの年の頃。母の膝に座って、お線香の煙がゆらゆらと漂っている風景をずっと見ていたことを鮮明に覚えています。お線香の先端の火がチリチリと赤く燃え、そこから生まれる煙の不思議。龍に見えたり、蛇に見えたり、少しの空気の揺れ、風を感じながらたなびいていく煙をずっと見ていたあの時間。「火」「煙」「風」という現象は理解できないまま、ただその動きが、存在が面白くて、美しく見入っていた時間のことを、今までずっと、忘れずにいます。

砂、石、草木、葉っぱ、虫、色、香り、音、、、。子どもたちは、日々、出会いを積み重ねていることでしょう。中には大人になっても忘れないくらい、深い驚きを伴う事象に出会っている子もいるかもしれません。出会いに心奪われ、時間も忘れて見入っている姿を、大切にしたいと思います。人智の及ばない、自然の美しさ、長い歴史が生み出した存在に触れて、魂が動き、人を想ったり、友だちや周りの人と関係結びながら、自分の手を動かし、作品が生み出されていくこともあります。こども美術館では、そんなこどもたちの出会い、こどもたちの表現に向き合う時間となりました。作品に表れたこどもたちの出会いの軌跡から、私たち大人も、小さな頃の大切な出会いを、思い出すひと時となったのではないかと、思っています。

(マネージャー 辻徳子)



こども 村インタビュー

待ち遠しいあの日編

T 「あのね、わたしのプレゼント何か教えて欲しい？」

保育者「(クリスマスかなあ...)知りたいなあ」

T 「お姉ちゃんも持っているローラースケート！」

K 「Kのも聞きたい？」

保育者「うん」

K 「ひみとう〜」

T 「Kくんの好きなのは...仮面ライダーとか？」

K 「ちがいま〜す」

「正解は...レゴか仮面ライダーのすごいやつでした」

T 「言うんかい！！」

K 「だって、秘密にするのにがてなんだよ」

3人で顔を見合わせて、笑った温かい時間でした。

保育者 リレー エッセイ

第9回目の担当はすみれ組担任の小杉麻里子さんです。
【ウクレレ名人、太極拳の師匠、虫博士など様々なタイトルネームをお持ちの小杉さん！自分の好きを子ども達と暮らしを共にする中で自然と伝えている姿や、子ども達の興味を広げ共に楽しんでいる姿に憧れます。それらの "好き"はどのように見つけ、深められてきたのでしょうか？また、いま挑戦したいことなどあればぜひ教えて下さい。】

しほのさん、そんな風に見てくださっていたこと、とても嬉しいです。素敵な紹介文をありがとうございます。

早速、ご質問にお答えしたいと思います。

まずウクレレですが、以前からピアノを弾くことが好きだったのですが、場所を選ばずに、子どもたちの顔を見ながら歌えるギターかウクレレをいつか弾けるようになりたいと思っていました。今から約8年前にウクレレ教室に通い始め4年程習い、しぜんの国でついに子どもたちの前でウクレレデビューを果たすことができました。子どもの生き生きとした歌声や身体の動きに合わせて一緒に楽しみながら演奏できることに幸せを感じます。

太極拳は地元の学習センターで無料講習があり、運動神経が鈍い私でもできるかなと思って参加したのが始まりです。練習中、先生に「力を抜いて」と常に言われます。息を吐くことを意識して力を抜き、自分から攻撃するのではなく、攻めてくる相手の力を利用して倒すという武術。練習後、呼吸が整うような爽快感があります。

虫は子どもの頃、兄が家の周りの原っぱでよく虫取りをしていて、私も付いて行ってバッタやチョウなどを捕まえていました。なので、身近に虫がいることが自然だったので嫌いになる理由がなかったというか ...。大人になってからもみつけた虫をじっと観察することが好きで、図鑑もよく見ている。一匹の芋虫も知れば知るほど愛着が湧いてきます。

これからやってみたいことは、ボランティア活動です。自立生活サポートセンターもやいの活動に興味があって、藤沢に専用の畑があるそうなのでいつか畑仕事に参加してみたいと思っています。

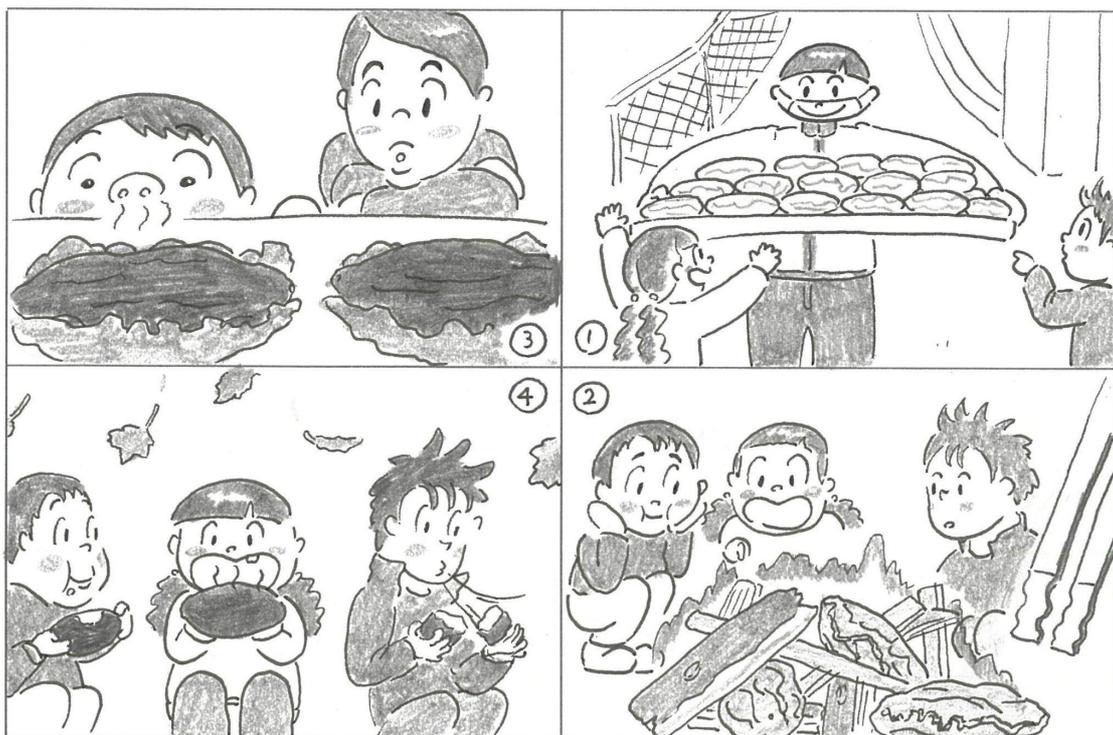
しぜんの国の一員になり、自分の「好き」を大切にしてくれて、おもしろがってくれる存在がいることが、居心地の良さや自信につながっていることを実感します。子どもにとってもそれは同じだと思うので、ひとりひとりの好きなことをきちんとキャッチして、一緒に楽しんでいきたいと思っています。

次回は、、、宇野さん。いつも澁刺としていて、子どもを引きつける遊びを次々と生み出す姿にあこがれます。その力の源になっていることは、何ですか？

かみじまのんびり 漫画劇場

「 やきいも 」

文・絵 かみじまたるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」YouTubeにて公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>